

令和3年度

全国学力・学習状況調査の
結果分析と今後の取組

令和3年10月
大紀町教育委員会

目 次

令和3年度全国学力・学習状況調査の 結果分析と今後の取組について	1
七保小学校の結果分析と今後の取組について	2
大宮小学校の結果分析と今後の取組について	3
大紀小学校の結果分析と今後の取組について	4
錦小学校の結果分析と今後の取組について	5
大宮中学校の結果分析と今後の取組について	6
大紀中学校の結果分析と今後の取組について	7

令和3年度全国学力・学習調査の結果分析と今後の取組について

令和3年10月

大紀町教育委員会

新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年度中止された「全国学力・学習状況調査」が、本年5月に2年ぶりに実施されました。小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に行われましたが、その結果が、8月に文部科学省から公表されました。

大紀町教育委員会では、各校の代表者等で組織する大紀町学力向上推進委員会を設置し、町内の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証して、その改善を図っています。また、各校においても調査結果を受けて授業改善を進めるとともに、児童生徒の実態に応じた、実効性の高い教育活動を模索し、取り組んでいるところです。

学力の定着と向上には、ご家庭ならびに地域の皆様の協力が不可欠です。各校の分析結果を「強み」「弱み」として表すとともに、改善に向けた方策や皆様方をお願いしたい事項をまとめましたので、ご協力くださいますようお願いいたします。

(1) 教科に関する調査結果から

①小学校について

町の平均正答率は、国語・算数ともに、県を上回りました。特に計算等の基礎基本を問われる問題での正答率が高く、コロナ禍であっても、授業と家庭学習が連動し、子どもたちの学びが維持できたと考えています。また、「無回答」が少ないことから、途中で諦めることなく、最後まで粘り強く問題に取り組もうとする姿勢が伺えます。これからも、協働的な学びをとおして、みんなで対話・協力し、励まし合い、助け合いながら、課題解決を図る授業を目指します。

②中学校について

実施された国語・数学のいずれにおいても、県の平均正答率を上回っています。漢字や計算等の正答率が高く、徹底した反復練習等による成果であると考えています。今後は、基礎基本の一層の定着を図るとともに、長文の読解力や活用力を高める必要があります。そこで、一人一台のタブレット端末を有効に活用しながら、個別最適な学習を推進するとともに、確かな思考力・判断力・表現力等を育成していきます。

(2) 質問紙調査の結果から

早寝、早起きをし、朝ごはんをきちんと食べてから登校する児童生徒の割合が高く、基本的な生活習慣が身に付いている様子が伺えます。また、善悪の判断がきちんとできるなど規範意識も高くなっています。一方、個人差はあるものの、総じてテレビやゲームにかける時間が長い傾向があります。そして、これと連動する形で、読書の時間が全国平均に比べて低い状況です。

読書は語彙力や論理的思考力を高めるうえでも不可欠なことから、今後も、図書館運営補助員を各校に派遣し、本に親しみやすい図書室の環境を整えるとともに、子どもたちの様々な興味に対応できるよう蔵書の拡大に努めます。

七保小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

【強み】・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること

・漢字を文の中で正しくつかうこと

【弱み】・目的に応じ、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けること

・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

②算数科について

【強み】・図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること

・グラフから、項目間の関係を読み取ること

【弱み】・複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述すること

・場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること

(2) 質問紙調査の結果から

質問用紙の回答状況から以下のような傾向が見られました。

【強み】・挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感が高い。

・学習に対する興味・関心が高い。

【弱み】・1日あたりの読書の時間が少ない。

(3) 全体を通して

国語、算数共に漢字やグラフの読み取り等の基本的な学力が身につけています。また、児童は、日頃から自分の考えをもったり、深めたりする活動に意欲的に取り組んでいることが質問紙調査の結果からもわかりました。一方で、複数の情報について、比較したり、目的に応じた資料を見つけたりする問題には課題がありました。質問紙に目を向けると、読書量が少ない児童が多いことがわかります。また、読書量が少ない児童の傾向として、今回の全国学力・学習状況調査の解答時間が十分ではないと感じています。今後は「読むこと」における思考力、判断力、表現力の向上に努めるために、七保小学校全体で、物語の主題を明らかにさせたり、説明文の構成を捉えて要旨を把握させたりするような場면을、教師が意図的に学習に取り入れることが必要であると考えます。

(4) 家庭や地域へのお願い

子どもたちの規範意識や自己有用感が高いことから、家庭や地域において子どもたちが充実した日々を送っている様子が伺えました。また、課題の1つである読書については、現在PTAと共に「家族で読書を楽しもう」に取り組んでいます。引き続き家族が共に読書をしたり、本の感想を伝え合ったりする時間を取れるように、ご協力をお願いいたします。

大宮小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・漢字や文法など、言葉の特徴や使い方に関する知識や技能。
 - ・文章の意図や文章の構成を読み取る基礎的な国語力。
- 【弱み】・与えられた条件を満たした50～100字の文章を書くこと。
 - ・図表などの資料を使って話したり、文章と図表を結びつけて情報を見つけたりすること。

②算数科について

- 【強み】・グラフや資料を読み取ったり、そのデータを活用したりすること。
 - ・基礎的な計算力や数学的思考力。
- 【弱み】・三角形や平行四辺形など、図形の面積を求める問題に課題があること。
 - ・割合を考える問題にはやや課題があること。
 - ・言葉や数を使って数学的な記述をすること。

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・学習意欲は高く、目標を持ち粘り強く取り組んでいる。授業もよく理解している。
 - ・自己肯定感は高い。将来の目標を持ち、何事にも挑戦する気持ちがある。
 - ・いじめや差別を否定し、仲間との協力を大切にする姿勢がある。
 - ・地域行事にはよく参加し、地域や社会を良くしようと考えている。
- 【弱み】・テレビゲームなどに費やす時間が長く、読書時間が短い傾向がある。
 - ・スマホやパソコンの使い方の約束がないと回答した児童の割合が高い。

(3) 全体を通して

- ・学力については、基礎的な力についてはついていきます。また、単なる計算力だけでなく思考力も育ってきています。今後は、課題である論理的な文章を書いたり発言したりする力を全教科を通じてつけていきます。
- ・質問紙調査からは、学習にも生活にも前向きで意欲的な様子がうかがえます。自己肯定感も全国平均より高い状況です。学校・地域・家庭の連携で素直で前向きに育っていると思われれます。

(4) 家庭や地域へのお願い

- ・早寝、早起き、朝ごはんなどの家庭での生活習慣は安定しています。今後も基盤となる生活習慣の維持をお願いします。
- ・読書時間の少なさとゲーム時間の長さは気になるところです。家族全員での読書タイムやゲームルールなど、一度話し合ってもらえると良いかもしれません。
- ・子どもの成長には、学校・家庭・地域の連携が一番大切です。今後も子どもの成長を真ん中に置いた信頼関係を維持していきたいと考えています。

大紀小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・文中における主語と述語との関係を捉えること
- 【弱み】・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること
 - ・文章と資料とを結び付けて必要な情報を見つけること
 - ・中心となる語や文を見つけて条件に合わせて要約すること

②算数科について

- 【強み】・複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や加法性を基に捉え、比べること
 - ・棒グラフから、数量を読みとること
- 【弱み】・速さや図形などを求める公式の定着
 - ・データを二次元の表に分類整理すること

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・朝食を食べる、起床時刻の安定など、基本的な生活習慣は身に付いていると言える。
 - ・いじめはいけないことであるという意識が強い。
 - ・算数の勉強の大切さを理解し、頑張ろうとしている。
- 【弱み】・新聞を読んでいないなど、社会の動きに関心が薄い。
 - ・個人差はあるが全体として、普段の読書時間が短い。

(3) 全体を通して

全体的に既習事項の定着に不安を感じている子どもが多く、復習を軸とした取組を行っていくことの重要性を感じます。一方で子どもたちは、学習が大切なことであるということを理解しており、頑張りたいという気持ちも強く持っています。授業の中だけでなく朝学や家庭学習を通して、基礎学力の定着と活用力を意識した取組を進めていきたいと思えます。また、特に弱みとして認められ、継続的な取組が必要とされる「説明する力」、「条件に応じて文章を書く力」などの育成については、大紀小学校全校で、低学年のうちから取り組んでいくためのシステムの構築を進めています。

(4) 家庭や地域へのお願い

本校では「一人になれる 一つになれる」を学校教育目標に掲げ、子どもたちの自主性を大切に教育活動に取り組んでいます。自ら行動を起こすきっかけとして「挨拶の推奨」に取り組んでいます。「誰にでも気持ちの良い挨拶ができるように」そんな子どもの育成にご家庭や地域でもご理解、ご協力をお願いいたします。

錦小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

【強み】・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う力

- ・文の中における主語と述語の関係を捉える力

【弱み】・与えられた資料を基に、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する力

②算数科について

【強み】・速さと道のりを基に時間を求める問題

- ・棒グラフから数量を読み取る問題
- ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断する問題

【弱み】・示された図形（2つの平行四辺形を組み合わせた形）の面積の求め方の説明を記述する力

(2) 質問紙調査の結果から

【強み】・起床、朝食、就寝などの規則正しい生活習慣が身についている。

- ・いじめに対する善悪の判断をしっかりと持っている。
- ・地域の行事に積極的に参加している。

【弱み】・普段、家でテレビゲームをしている時間がやや長い。

- ・家庭等での読書の時間がやや短い。

(3) 全体を通して

国語、算数ともに要約をしたり、自分の考えを説明し、記述したりする力を更につけていかなければならないことがわかってきました。各教科等の学習の中で、自分の考えがよく伝わるように、理由を明確にして文章を書いていく作業を更に取り入れていく必要があります。

(4) 家庭や地域へのお願い

- ・今後も引き続き、早寝、早起き、朝ごはん等の規則正しい生活習慣の維持をお願いします。
- ・ゲームやスマホ等の適切な使い方について家族で再確認をお願いします。
- ・家族との落ち着いた会話の時間を確保し、子どもが自分の思いや考えを話し、それをしっかりと家族が聞き取る機会を積極的に作ってください。
- ・朝夕の挨拶をはじめとして、地域の子どもたちへの声かけを今後もお願いします。

大宮中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査から

①国語科について

【強み】・記述問題5問の正答率がすべて高く、無回答率が低いこと。

【弱み】・文章を読み返し、段落相互の関係を捉える選択問題や文脈に即して語句の意味を捉える問題に課題が見られること。

②数学科について

【強み】・関数の形で表現する問題や条件から言えることを表現する問題の正答率が高いこと。

【弱み】・平行四辺形になるための条件を用いて説明する問題の正答率が低いこと。

(2) 質問紙調査の結果から

【強み】・朝食を毎日食べていることや、同じ時刻に起床・就寝している生徒の割合が高く、規則正しい生活ができている。

・一日当たりの読書時間が多く、習慣化されている。

・自分には良いところがあるという自己肯定感が高く、人の役に立つ人間になりたいと思っている生徒が多い。

【弱み】・一日あたりのゲーム時間について、4時間以上の割合が高い。

・家庭での勉強時間（塾等も含む）が少ない生徒が目立つ。また、自分で計画を立てて勉強（予習・復習を含む）をしている生徒の割合が低い。

・将来の夢や目標を持つことや、地域や社会をよくしたいと思うこと、新聞を読むことについての割合が低い。

(3) 全体を通して

生徒は、概ね規則正しい生活が送れており、落ち着いた環境の中で授業に集中することができています。そのことが、国語・数学とも全国平均を上回ることに繋がったのだと考えます。これからも、授業改善や仲間づくりの取組を進めるとともに、将来の夢や仕事について考えさせる指導を充実させることで、更なる学力向上に努めていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

「ゲーム時間」が増加傾向にあります。ご家族で話し合い、家庭内でのルール等を設けてください。また、家庭学習の習慣化が必要です。学校においても、自主学習の指導を行っていますが、ご家庭でも見守りをお願いします。

大宮中学校は、これからも自己肯定感を高め、何かをやり遂げる機会を設定し、その過程を評価する取組を継続していきたいと考えておりますので、ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

大紀中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

① 国語科について

【強み】・基本的な知識・技能について、一定の定着が見られること

・書くことに対する抵抗感が低く、文章を正しく書けること

【弱み】・文章を部分的にとらえてしまうため、読解をしながら解いていく複合的な問題は、苦手意識が強く、諦めてしまうこと

・条件をとまなう記述に関して、読み取り不足により条件を見落とすこと

・文法事項の定着に課題があること

② 数学科について

【強み】・基本的な計算力や知識は、定着していること

・すべての分野において、基本的事項や簡単な記述式による説明問題は、平均的に強みがあること

【弱み】・思考力・判断力をともなう問題の正答率が低いこと

・数学的説明を記述式で行う問題に課題があること

(2) 質問紙調査の結果から

【強み】・基本的生活習慣は良好で、規範意識も高い傾向にある。

・仲間と協力して物事をうまく進めていこうという意識が強い。

・授業中、ほとんどの生徒が、教師の指示通り真剣に取り組んでいる。

【弱み】・将来の夢や自己肯定感・チャレンジ精神等、自己に対する向上心にやや弱い傾向がある。

・ゲームやSNSをする時間が長く、計画的に家庭学習に取り組む時間が短い。

・授業中、意欲的に発表したり、主体的に深く考えて学習に取り組む態度が弱い。

(3) 全体を通して

生活習慣が安定し、生徒同士の関係が良好であるため、学力は向上しつつあります。今後も授業改善を継続し、分かる授業を通して生徒の学力向上に取り組みます。

昨年度は、コンピュータやICT機器を使用した授業が少ない傾向にありました。GIGAスクール構想で生徒に1人1台整備されたコンピュータを活用した授業を推進します。

(4) 家庭や地域へのお願い

TVやゲーム・SNSの時間が2時間以上・3時間以上と長く、それにとまなない家庭学習が1時間以内で計画的にできていない生徒が、50%以上いるのが大きな課題です。TVやゲーム・SNSに費やしている時間を少しでも家庭学習の時間に変更し、家庭学習が習慣化できるような声掛けや見守りをお願いします。

また、SNS等の利用状況について、気をつけていただきますようお願いいたします。